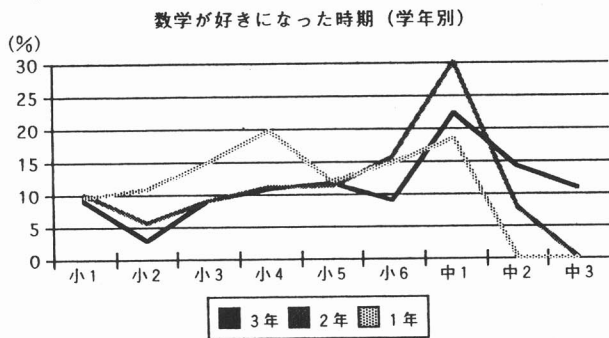
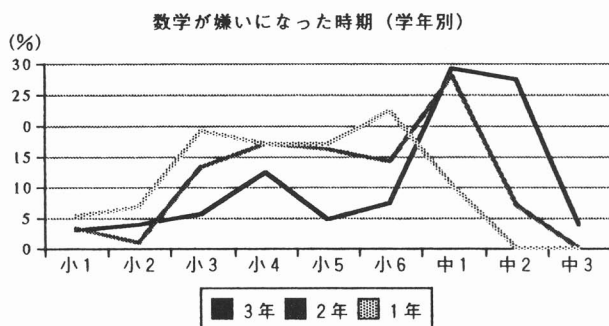


(5) 数学を、いつ好き(嫌い)になったか。

数学が好きになった時期は、小学校4年と中学校1年のときが多い。

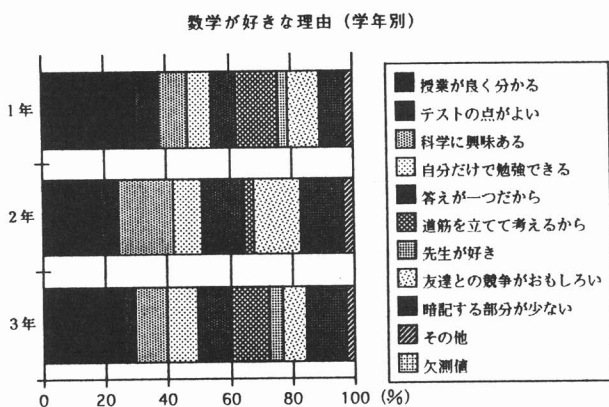


一方、嫌いになった時期としては、小学校3年あたりから始まって、中学校1, 2年でピークに達する。そうしてみると、小学校3, 4年と中学校の1, 2年が、一つのターニングポイントであるものと考えられる。

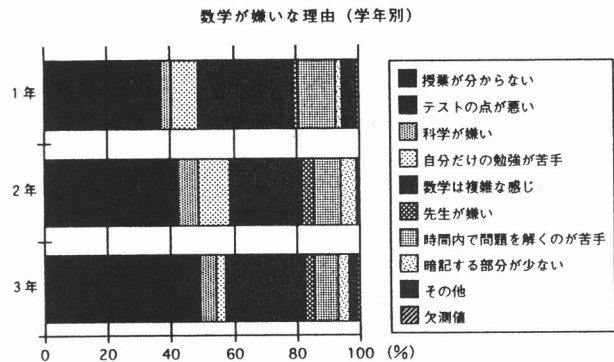


(6) 好きな(嫌いな)理由 (1つまたは2つ選択)

好きな理由として比較的多いものを拾っていくと、「授業が良く分かる」「科学に興味(2年)」「道筋立てて考える(1年)」「答えが一つ」「暗記できない」などである。

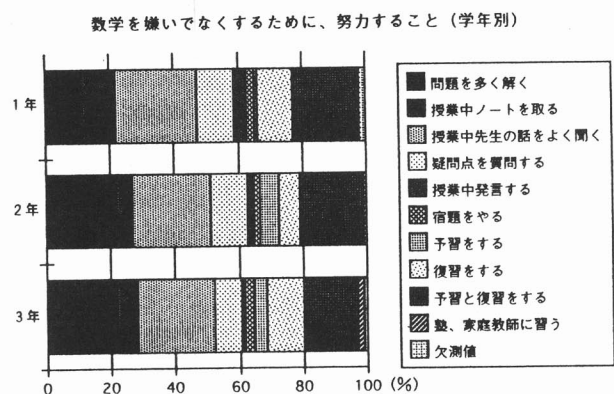


一方、嫌いな理由は、「授業が分からない」「複雑」「テストができない」などであり、『授業』がどちらにも大きな影響を与えていることが分かる。



(7) 数学を嫌いでなくするために努力すること (1つまたは2つ選択)

このことについて、生徒たちが考えていることは、成績を問わず極めて堅実なことである。すなわち、「問題を多く解き」「授業中、先生の話をよく聴き」「予習復習をする」ことが重要であるとしている。



(8) 今後、数学をどのように勉強したいか

「今までどおり」という生徒も、20~30%いるが、「少し難しい問題まで」頑張ろうという生徒も多い。

